

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】帯広市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
17	2007.1.31			北海道	帯広市	170,580	618.94
構想の要約		ごみ減量化・資源化の推進、堆肥・緑肥などの導入による土づくりや、有機循環型農業の推進、農業廃棄物の適正処理など循環型・環境保全型の地域社会づくりに取り組んできた実績を活かし、大規模な農業をはじめとする農林水産業を基幹的な産業とする帯広・十勝地域における豊富なバイオマス資源の利活用を進め、環境に配慮した地域社会づくりを推進する。					
構想に盛り込まれた事業		1 バイオマスプラスチック資材の利用による廃棄物削減 2 資源作物及び規格外農産物のエネルギー利用 3 作物残さの利活用 4 木質バイオマスなどの利活用 5 家庭生ごみ利活用 6 廃食用油の利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど			資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		○		
廃食用油	○	果樹剪定枝				
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材		その他()				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他()						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	
その他(食品加工原料、機能性食品)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成20年度、十勝・帯広型エコフィードTMRセンター研究会、にんじん残さ・長いも残さ・製パン残さ飼料化施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

廃棄系バイオマスの利用率 84.0% ⇒ 90.0%

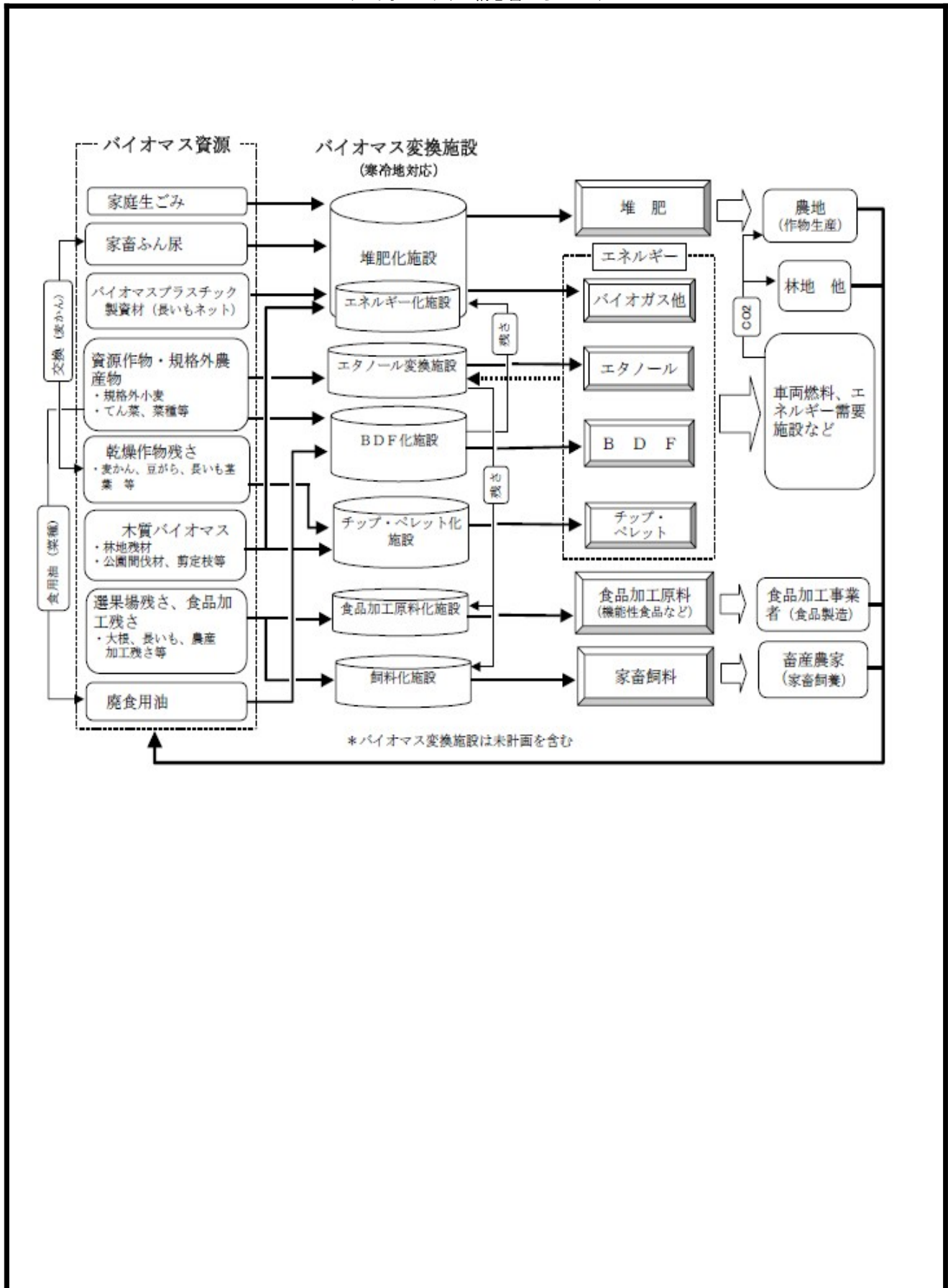
廃棄系バイオマスの中で最も量の多い家畜ふん尿堆肥の良質化、適正利用をさらに進める。食品加工残さから機能性食品や家畜飼料化などの検討を進め、利活用の割合を高める。また、家庭生ごみの堆肥化や廃食用油のBDF化を促進し、利用率90%以上を目指す。

未利用系バイオマスの利用率 63.3% ⇒ 80.0%

バイオマスプラスチック製などの生分解性長いもネットをさらに普及させ茎葉と一体的な堆肥化利用を進める。豆がらなどの乾燥した作物残さは燃料化への検討、選果場残さは加工食品や家畜飼料化の検討、林地残材や公園間伐材などの木質系バイオマスはチップ化、ペレット化などを検討し、利用率の向上に努める。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)